

奥の細道旅立ち330周年 矢立初めの地

千住あらかわ

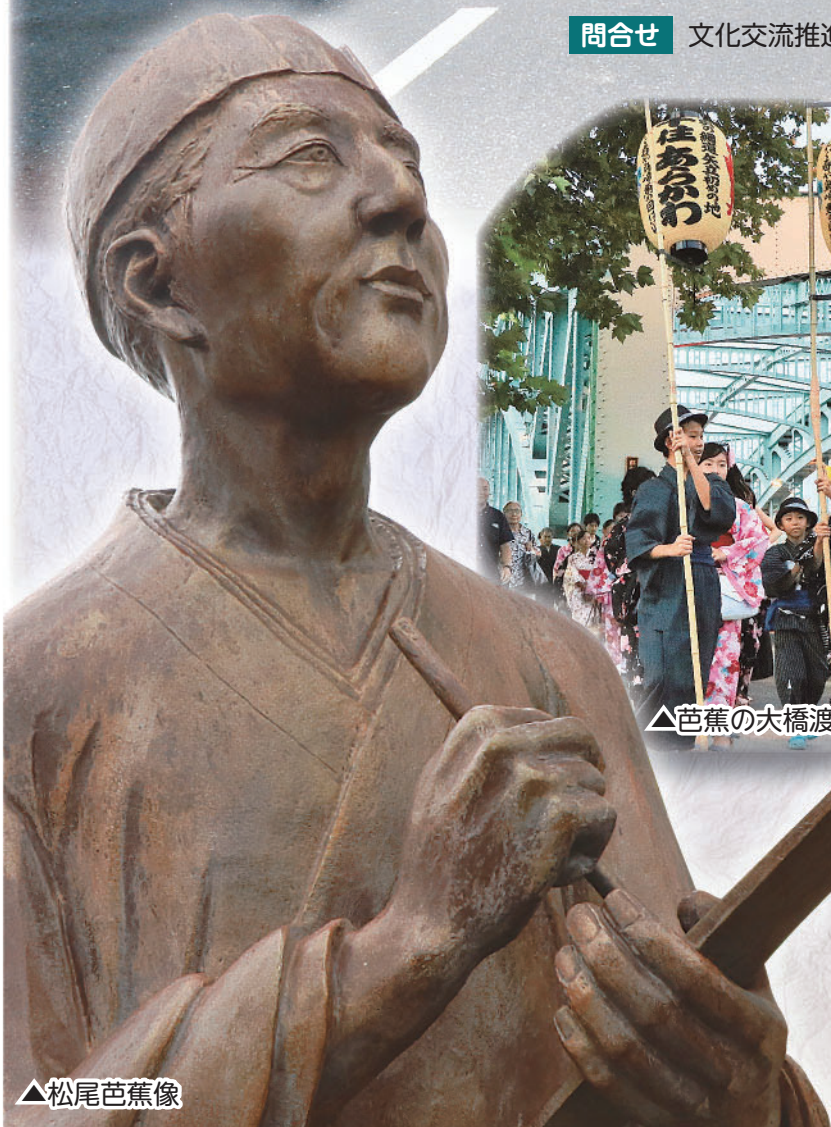
千住大橋
Senjuohashi Brg.

橋大

俳人・松尾芭蕉はこの句（右）を詠み、
千住大橋を渡り「奥の細道」の旅へ出発しました。
今年は、この旅立ちから330年の節目の年であり、
区や関連自治体等では、さまざまな取り組みを実施します。
皆さんも芭蕉の思いや俳句の魅力に触れてみませんか。

問合せ 文化交流推進課文化振興係 ☎内線2521

ゆくはる
行春や
とりなきうお
鳥啼魚の
め
目は
なみだ
涙



△松尾芭蕉像



△芭蕉の大橋渡り



△夏休み子ども博物館 俳句をつくろう



△奥の細道矢立初めの地
子ども俳句相撲大会